宇和島でうどん定食を頂き、四十一番礼所龍光寺、四十二番仏木寺、四十三番明石寺を廻り途中亀の産卵場所の浜辺もおしえて頂き、今回の巡拝の旅を無事終える事が出来ました。

病気、怪我人も無く、皆さん元気で車中の人となれた事、これも一重にお大師様のお陰と感謝しています。私はこれ迄二年程休みましたが三回目を廻らせて頂いております。最初の頃と違い足の力も衰えもう無理かなと懸念しておりましたが、有難い事に心配が杞憂に終り、夫婦共々お参りが出来た事に感謝しています。次々と新しい友も出来又来年の巡拝を今から楽しみにしています。

終わりになりましたが、お世話して下さった御住職、奥様、総代の方、又車中でお世話下さった方に感謝しています。又私達の命を預けている岡山交通の高杉さん、とても博学者で色々の知恵を授かりました。皆様本当に有難うございました。又次回の巡拝にも皆様と御一緒させて頂ける様、日々精進したいと思っています。

合掌

西播磨地区 有名諸寺院巡りに 参加して

尻海　福井昭二

皆様明けましておめでとう御座います

今年も皆様と共に去年と呼ばれる様になった年を無事に越す事が出来ました事に感謝し、二十一世紀の新春を迎える事の出来ましたことを、この上も無い同慶の至りに存じております。

そして歳と共に衰えて行こうとする気持ちを、引き立て、引き立て去年と今年を繰り返す生命力を支えに一日一日の喜びを求めて頑張っている今日この頃で御座います。

さて、今年も早、人も木も、そして花も小鳥も待ちかねた季節の春は訪れ、庄田山朝日寺が恒例の行事としている有名諸寺院巡りの時期となってまいりました。今年は西播磨地区有名諸寺院巡りと太陽公園散策の旅と決まり、年毎盛況を極めて今年も昨年の参加者を越え総勢一二一名、三台のバスに分乗して出発、昨夜当たりの天気予報に依ると当日は雨と覚悟しておりましたが一夜明けると一片の雲もない五月晴れ、昨夜の小雨に一層鮮やかな新緑の狭間沿いに朝靄のひく山陽道を抜けて着いた処は牡丹の寺で知られた大通宝山富満寺萬勝院、有名寺院となると何処のお寺様も、共通している事といえば栄枯盛衰を繰り返して現在に至っていると言う事であります、この萬勝院も例に漏れず嘗て六院を誇っていたこの有名寺院も明治の時代に至って五院が廃院となり一院のみを残して現在に至り嘗ての有名寺院の風格を維持するため見事な牡丹園を始め四季を彩る環境を整え、更に近隣の名所旧蹟等も併せて多くの参拝客の足を寄せる様に努め、寺院繁栄の存続に努力している様子がうかがえ、今が盛りの牡丹園は寺院を囲むさ緑の空間に牡丹の大輪が咲誇っておりました、この景観を後に初夏を思わす暑さのなかを、ゆっくりとバスに帰って休憩を取りながら次の相生は善光寺へと向かった。

緑なす葉桜の辺に大輪の
紅の牡丹に揚羽蝶の舞ふ

バスは山陽自動車道を快調に走り、うとうとしながらもガイドさんの名調子な説明を聞いているうち早や相生の善光寺へ着いた、先ず目に映ったのは長々と続く参道、私の体力に自信が無いため一瞬ためらったが自分の体力を鍛える上での試練、きっとみ仏様もお守り下さるであろうと皆さんの後に続いてやっとたどり着いた石段前の石鳥居をくぐった、ふと頭をかすめるものがあったが総合的な学風を特徴とする天台宗とすれば何等違和感もなく本堂へと進んだ、ここ善光寺と言えば全国に其の名を知られた長野市在所の善光寺天台宗大勧進で三国伝来の阿弥陀如来像を本尊とする有名寺院の分身寺院と聞く、お賽銭を投げ両手を合わす度、霊験あらたかなる感銘を覚えるのでした。お陰様でお参りも無事にすませて次なる太子町斑鳩寺へと移っていきます。那波の寺山を抱く様に廻り登って行く坂道を息を弾ませながらも体の強化は勿論の事、弘法大師様への報恩感謝に併せて参加者全員の行動結果の中ら生まれる、コミニュケーションを通じて無意識の中になせる徳こそ尊いものではなかろうかと元気を出して登りつけた境内の一角に建立された歌碑の傍へのベンチへ腰を下ろすと満足感が汗と一緒にわき出てくるのでした。ボランティアの人達から差し出された其の心のこもったお茶をどんなに美味しく頂いた事であろうか、こんな事にも地域の文化遺産を守ろうとする地元の人達が迎える人に対して精一杯の歓迎の言葉の様に感じ心に響くものがありました。当斑鳩寺の伝説等につきましては伽藍のお堂に於きまして斑鳩寺のご住職様からご法話と併せて、由緒伝説並びに数多くの文化財に関するご説明を頂きました上、国指定文化財を始め数多くの斑鳩寺の宝物を拝観させて頂いておりますので省略させて頂きまして一行は昼食休憩の場「うかいや」へとバスを移動、午前中の予定コースを消化致しました。

那波の山深き緑の頂きに
威風漂う斑鳩の寺

食事を終えての土産物売場は賑わっていました。午後の予定が一部変更になり竜野の小宅寺を訪れる事となり、山陽自動車道を東進、山間の平野を抜けてのどかな揖保川下流域に位置するここ竜野市は旧城下町でありました。尚歌人で知られる三木露風、北原白秋といった名高い歌人生誕の地であり、あちこちに歌碑が建立されているとか聞いております。こう言った何となく落ち着いた物静けさを想わせる町に建立されている小宅寺の境内に足を進めて行くと、涼風に運ばれて来る鉦の音が心の雑念を拭い去って行く様な清らかな感じを覚えました。後から聞いた事ですが檀家の方々がご詠歌のお稽古をしておられたとの事でした。当小宅寺に於いてもご住職様のご法話を聞かして頂く予定だったとの事ですがご住職様が急なご所要のためお留守となった為、それぞれにご参拝をすませて次なる姫路の太陽公園へ向けて移動、この太陽公園は心身障害者職業補導施設として障害者の社会参加と障害者自身の自立を願って障害者自らがこの施設を運営して行こうと言う意欲を育てる目的を持って作られた公園で、全世界の文化と歴史の粋を集め整えられた公園でありました。中でも中国の始皇帝軍団の精鋭と称する兵馬は地面より二ｍ堀下げられた中に一〇〇〇体の兵馬（復元制作品）が陣営を敷いている様相は絶賛の感にうたれたました、又中国の遺跡万里の長城（実物大）の工作は実に見事なものであり私自身が万里の長城に立っている様な実感を覚える程のものでした。尚公園内通路には各国の歴史を象徴する石像ピラミット石貨等に交え其の空間を今咲き誇るつつじ、木蓮等色んな花が共に整然として並び訪れる人を心から迎える如く爽やかな気持ちを誘う公園であり管理する障害者の心の優しさがこうした環境の中にも感じ取れる思いでした。事実万里の長城付近で出会った車椅子の一団のまだ若者と思われる人達から「今日はいらっしゃいませ」と思いがけない挨拶に思わず今日は、と返して尚振りむいて頑張って…とエールを送った後この若者達の教育に当たっておられる方々のご苦労の程が伝わってくる一瞬でもありました。

車椅子を恥じぬ笑顔を育てつつ
生甲斐託す太陽公園

こうして今日一日の最後を海外旅行でもした様な気持ちで一日を結ぶ事が出来、疲れも忘れて太陽公園を後に一路邑久町へ向けて帰路についたのであります。そしてバスの中に目を瞑って今日一日を想い返して見る時、今生きていると言う事の喜びをつくづくと感ずるのでありました、そして幸福とは物として其処に存在しているのではなく感ずることなのであり、嬉しさを味わい喜びを味わっている瞬間、その人はまさしく幸福なのであり、今生きている上に於いて五感と言う人間の感覚が働く事に依って感ずるものであり、幸福と言うものは所有出来るものでなく感ずるものであると言う事を改めて噛みしめてみる今日一日で御座いました、皆さん方次回もご一緒に有名諸寺院巡りに参加して楽しい一日を過ごしましょう。

最後になりましたが、何時も乍この企画にお骨折り頂きました主催の朝日寺のご住職様並びに壇家総代会長様には大変なお世話になり誠に有り難う御座いました誌上をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。

合掌

御詠歌だより

庄田　山内眞澄

明けまして、お目出とうございます。

「御詠歌を習って見ませんか」と朝日寺の奥様よりお誘いがあり、御詠歌がどんなものか全然知らない私が習わせてもらう様になって早七年。良き友達に恵まれ、義母の使っていたお道具をもらって、一から手をとり指導して下さった先生方のお陰で朝日寺の行事に参加させて頂いたり、備前大会、中国大会と毎回出場させて頂いています。二月中頃岡山カルチャーホテルで高野山より四人の講師の方が来られ二日間講習があり、その時習った御詠歌「金剛」を大会に全員で奉納しようと言われ、私達四人も若奥様を中心に、月二回の練習日に勉強してきました。備前大会（九月四日）では、まだまだ思う様に出来ませんでしたが、中国大会に向けて頑張ろうと、四人で力を合わせ、先生方のご指導の元、練習してきました。大会が間近になり、四人の作法は揃っているのか、鈴の高さはどうか、不安になり、廊下のガラスに姿を写して、揃うよう練習もしました。頭出しをする若奥様は大変だったろうと思います。十一月十七日、玉野市渋川マリンホテルで中国ブロック奉詠舞大会の日がやってきました。まだまだと思っていた大会当日、着物を着て朝日寺へ、迎えのバスが来るまで、四人で練習し、バスの中でも何回か声を出している間にホテルへ到着。会場を下見して昼食。緊張していたのか思うように食べられず、お昼休みも、四人で作法に気をつけて練習する。今日まで教わって来た事を悔いの残らないよう精一杯発表できればと。「リラックスしていつも通りにね」と奥様の笑顔に励まされて、落着いて出来たような気がしました。何年か年を重ね少しづつですが御詠歌の良さ、有難さが分かりかけたような気がします。これからもご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

合掌

権大僧正に

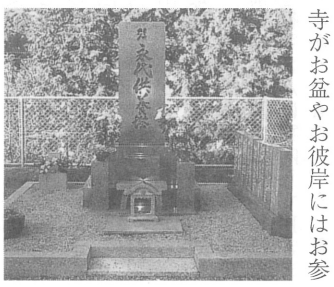
朝日寺十三代正隆名誉住職は、長年の宗団に対する功績が認められ、本山金剛峯寺より権大僧正に任命され、十二月一日高野山において管長より辞令をいただきました。

墓地

朝日寺を間近に望む景勝の地に、墓地を造成しています。車で墓地内まで入れます。一区画七、五平米（二、五米×三米）で永代使用料六十万円、年間管理費三千六百円です。残り少なくなりましたので必要な方はお早く申込み下さい。

永代供養塔

後継ぎや子供がなくて、お墓を祭ってくれる人がないという方が段々増えています。寺ではそういう方の為に永代供養塔と名付けた墓を建立しています。家族にかわって、寺がお盆やお彼岸にはお参りし、お花やお線香を立てて、お経をあげ供養をいたします。永代供養料は二十五万円です。



役員名簿

総代会

（◎総代長、○副総代長）

敷井　川野健郎　川野　重
大東　木下政夫　森　隆明
中東　川野澄男　坂口鶴一
市場　◎島岡篤　藤本太郎
西部　谷　利夫　松井立男
大土井　田中鶴夫　砂場耕二
庄田　木村　章　○木村　巧
渡内　○千種司郎
高助　市守用二
下寺　久本　巽　山本達雄
問口　山田良一
前泊　内田勲一郎
虫明　山根俊雄
尾張　松下　隆　清水佐伯男

密教婦人会

（◎会長、○副会長、△会計）

敷井　川野菊江　△川崎靖子
大東　川野佐智子　川野昭子
中東　松本正子　水野光子
市場　岡山清子　藤本初子
西部　森部五月　大倉時子
大土井　田中常子　山内梅子
庄田　◎胤草小夜子　黒田睦江
渡内　近藤佐智子
高助　○山本喜世子
下寺　○森　啓子　久本満枝
大東　内田和香
中東　久本和子
市場　内田三鈴
前泊　安達米子
尾張　内田ひろみ